

## 科学 NPO 法人の運営(その 2)

柴田 晋平

概要：科学を活動テーマに含む NPO 法人の運営についてお話ししたいと思います。前は NPO の社会的な役割を中心に書きました。今回は、NPO の運営に一番大切なことはミッションであることを説明します。

### ミッションが大切

NPO にとって最も大事なことはなんでしょう。それはミッションです。ミッションは「使命」と訳されます。「その NPO の存在意義は何か?」「何を目指して活動しているか?」ということです。

しばしば引用される例をあげましょう。

井戸を掘る NPO があります。東南アジアなどできれいな水が得られない村に井戸を掘って、安全な水を提供する活動です。さて、ある村で井戸が完成し、安全な水が得られるようになり大変よろこばれました。そして、村人から出された次の希望は学校が欲しいということでした。

この井戸掘り NPO がはたして学校づくりの事業を行うかどうかは難しい問題です。この問題にかかわれば相当の労力が必要ですし新しいノウハウも必要です。新しい人材を集めないといけません。資金調達も必要です。もしやるなら、必要な資金とマンパワーは相当なものでしょう。資金繰りに失敗すれば NPO 自体の存続が脅かされるかもしれません。もし始めると、井戸を欲しいと思っている他の村の要望に応えられません。

この場合は、学校を建設するというミッションを持った別の NPO にバトンタッチすることでうまく切り抜けることができました。

一つの NPO はそのミッションに合わせて、ノウハウが集められ、人材が集まります。資金もミッションがあるから集まります。全てが、ミッションの周りに集まってくるのです。

従って、ミッションの変更や追加には注意が必要です。ミッションの設定に失敗すれば NPO の存続が脅かされます。

このゆーびとまれ!



何をやりたいか? 何ができるか? を見て人が集まってきます。ミッションが何かが重要となります。

### ミッションが求心力

特に重要なのは、**NPO 活動をするメンバーを決めているのはミッションである**点です。

つまり、ミッションによって集まってくる人々の持つインセンティブ(何にハッピーを感じるか)が変化します。集まってくる人のスキルもミッションによって変わってきます。新しいミッションを加えると、その事業にインセンティブを感じる新しい人が加わりますし、あるミッションを外せば、そのミッションに興味の

あった人は NPO を去っていくことになります。ミッションがメンバーを決定するのです。

すると、やらなければならないことが自ずから決まってきます：

- **ミッションは常に確認しあうこと。**  
事務所やホームページ・出版物など目につくところに、ミッションを明示しておくのが良いでしょう。事業とミッションが対応していて、ミッションに沿った事業になっているか常にチェックするようにします。
- **収益事業をやるときはその意義をはっきりすること。**  
なんのために収益事業をしているのか、ミッションとの関係を確認しましょう。ミッションを忘れてお金儲けに走ったりしてしまいそうですね。
- **お祭り・大きなイベントなどを行うときは、その意義をはっきりさせること。**  
お祭り・大きなイベントを開催すること自体にインセンティブを感じる人が集まります。ミッションとの関係に注意し、ミッションを中心ににおいて実施しましょう。楽しかったけど、後に何も残らなかったというのは NPO 活動としては失敗です。

**著者：**柴田 晋平(しばた しんぺい)

1954 年生まれ、理学博士；宇宙物理学、パルサー磁気圏の構造、宇宙プラズマ物理学、X 線天文学。宇宙物理学の教育法・教材の開発。山形大学名誉教授。

星のソムリエ®資格認定制度、NPO 法人小さな天文学者の会、公開天文台としての「やまがた天文台」の創設に関わりました。山形新聞「星空案内」連載中。

shibata.shimpei@gmail.com

ミッションは一つとは限りません。会員が意見を出し合ってミッションの追加(修正)を行うことも可能です。とにかく、ミッションについての議論を常にするようにします。「私たちはなんのためにこれをしているのか？」と。

事業を多角的にしたいときのひとつの良い方法は、他の NPO との共同です。小さな天文学者の会の経験を一つ紹介します。

サイエンスの講演会を耳の不自由なかたにも提供したいということになりました。この時は、要約筆記の NPO との共同事業で講演会を開催しました。耳の不自由なかたにも講演が提供できたのは大成功でした。さらに、ちょっと聞き逃したこともフォローされる、ということで一般参加者からも感謝されました。これで両方の NPO がハッピーになりました。

#### 参考文献

[1] 柴田晋平, 2021 「科学プロデューサー入門講座」, 国立天文台科学文化形成ユニット編集 (「科学 NPO 法人の運営と実際」章),

